

公表：令和2年 2月 14日

事業所名 ドリームつばさ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数により、グループに分かれ、療育を行っている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			トイレに手すりを設置した。一般住宅を使用している為、段差はあるが、転倒しないように見守りや援助をしている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表だけではなく、日頃より保護者の方の要望があった際には、業務改善につなげている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後、第三者評価を行うことを検討している。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な社内研修の他、外部研修への参加も行っている。	
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				ツールを使用し、アセスメントを行っているが、アセスメントが非常に重要であることを職員一同感じている為、更に深くアセスメントを行えるように検討している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者が指導員からの意見をもとに立案している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎の関係で、振り返りに全員が参加できない状況ではあるが、振り返りでの内容は日誌にて周知している。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			就園している児童の幼稚園等と定期的に情報交換や見学等を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					対象児童がいない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					対象児童がいない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			サポートファイルにて情報提供を行ったり、必要時は連携会議等を開催し情報共有や相互理解を図っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			サポートファイルにて情報提供を行ったり、必要時は連携会議等を開催し情報共有や相互理解を図っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			就園が近い児童に対して、系列の保育園との交流を行っている。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノート、送迎時の他、半年に一度の面談や随時電話にて保護者との情報交換に努めている。	
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			面談時に家庭での関わり方の助言を行ったり、定期的に保護者学習会の機会を設けている。	
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			定期的に保護者交流会の機会を設けている。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にドリーム通信を発行、またブログにて日々の療育の様子を発信している。	
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				十分注意しているが、連絡ノート等の入れ間違いなどがあった為、ダブルチェックを行うなど対策をとっている。
	⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の方たちに児童が手作りのキャンドルを配るなど交流の機会を設けた。	今後も地域と関わることができるような企画を検討している。
	非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
㉒		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1度、避難訓練を行っている。	
㉓		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				
㉔		食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			アレルギーの有無を入所前に確認している。アレルギーがある場合は医師の指示書を提出してもらい、職員間で周知し、対応している。	

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、定期的に研修の実施、セルフチェック等も行っている。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				現在まで、拘束を必要とする場面がない。拘束しない対応方法を常に検討している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:令和2年 2月 14日

事業所名 ドリームつばさ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数により、グループに分かれ、療育を行っている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレに手すりを設置した。一般住宅を使用している為、段差はあるが、転倒しないように見守りや援助をしている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表だけではなく、日頃より保護者の方の要望があった際には、業務改善につなげている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後、第三者評価を行うことを検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な社内研修の他、外部研修への参加も行っている。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				ツールを使用し、アセスメントを行っているが、アセスメントが非常に重要であることを職員一同感じている為、更に深くアセスメントを行えるように検討している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者が指導員からの意見をもとに立案している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇時は、行事等を企画している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎の関係で、振り返りに全員が参加できない状況ではあるが、振り返りでの内容は日誌にて周知している。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			対象児童がいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			サポートファイルにて情報提供を行ったり、必要時は連携会議等を開催し情報共有や相互理解を図っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			現在まで対象児童がいないが、そのような場面になった際は、情報を提供する予定である。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			支援センターの機関支援を利用し、助言を受けている。また定期的に支援センターの研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		小学校生活の中でその機会がある為、現在は個人のスキル向上等の療育に重点を置いているが、今後、必要時には児童会館等の児童との交流も検討していく予定である。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノート、送迎時の他、半年に一度の面談や随時電話にて保護者との情報交換に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			連絡ノート、送迎時の他、半年に一度の面談や随時電話にて保護者との情報交換に努めている。
保護	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談や電話等で相談を受けた際に助言を行ったり、必要時は家庭での支援に必要なものを提供することもある。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			定期的に保護者交流会の機会を設けている。

者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にドリーム通信を発行、またブログにて日々の療育の様子を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1度、避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会を設置し、定期的に研修の実施、セルフチェック等も行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在まで、拘束を必要とする場面がない。拘束しない対応方法を常に検討している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの有無を入所前に確認している。アレルギーがある場合は医師の指示書を提出してもらい、職員間で周知し、対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。